

2019年（平成31年）4月17日

## 働きがいのある職場づくりのため 相模鉄道が「健康宣言」を制定 社員の健康意識を向上し、「健康経営」を推進

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2019年4月1日に健康管理を経営的な視点で考え、社員の健康維持と増進のため「健康宣言」を制定しました。

これは、健康意識を向上させ、社員とその家族の健康維持と増進を行うことで、ご利用いただいている鉄道のさらなる安全・安心な運行を目指すことを目的に、今回初めて制定したものです。

これまで、専門スタッフによる生活習慣のサポートや健康に関するセミナーの開催等、社員の健康維持を行ってまいりました。今後も安全の根幹である健康意識の向上にさらに取り組み、安全、安心、エレガントな鉄道会社を目指してまいります。

概要は、別紙のとおりです。

### 「健康宣言」

相模鉄道は健康を第一に考える経営を行います。  
健康は心と身体の花福の源であり、安全・安心な鉄道の運行に努め、沿線のみなさまの毎日を支えるという相模鉄道の使命を成し遂げるために不可欠なものです。  
私たちは社員とその家族の健康維持と増進に取り組みます。

### 「健康宣言の策定にあたって」 代表取締役社長 滝澤秀之

健康宣言の中で相模鉄道は「健康を第一に考える経営を行う」と宣言しました。  
しかし、そもそもどのような状態を健康と呼ぶのでしょうか。  
そう考えて思い当たるのは健康とは単に「病気をしていない状態」ではない、ということです。

心と身体がすこやかに保たれていること。  
そして、互いに気持ちよく仕事ができる状態であること。  
それらが満たされて初めて「健康」と呼べるのではないのでしょうか。

健康宣言にもあるように、健康は人の幸福の源です。  
社員とそのご家族の健康を犠牲にした経営などあってはならない。  
私はそう思います。

相模鉄道は社員ひとりひとりの健康を心から祈り、  
多様化する働き方に柔軟に対応した快適な職場づくりを目指します。  
社員のみなさんもご自身の健康を大切にしてください。



昨年の「健康ウォーキング」の様子



昨年の「健康セミナーのトレーニング」の様子

## 相模鉄道の「健康宣言」および健康経営の主な取り組みの概要

## 1. 「健康宣言」制定日

2019年4月1日

## 2. 「健康宣言」制定理由

健康経営を推進するにあたり、その基本方針となる「健康宣言」を社内外へ発信することで社員の健康意識を向上させ、さらなる安全・安心な鉄道の運行を目指すために制定するものです。

## 3. 健康経営の主な取り組み内容

課題	項目	内容
健康の維持・予防・改善	健康診断後フォローの強化	流れのチャート化、対象となる数値基準の明確化、監督職に展開
	インフルエンザ予防接種助成	インフルエンザ予防接種の費用を全額助成
	特定保健指導実施	専門スタッフ(保健師、管理栄養士等)による生活習慣の見直しサポート
	新入社員入社后面談実施	産業保健スタッフによる入社後一定期間(3年程度)個別面談の実施
	退職者職場復帰プログラム	2週間の復帰訓練および産業医との個別面談の実施
	ストレスチェックの実施	受検率96.8%(2018年度)
健康増進の取り組み	健康チェックの習慣化	各職場へのヘルスマーター設置による測定の習慣化
	健康セミナーの実施	運動習慣改善セミナーを実施
	食生活改善セミナーの実施	栄養・食事のとり方等セミナーを実施
	ヘルシーメニューの提供	社員食堂等でのヘルシーメニューの提供
	ウォーキングイベントの開催	職場対抗リレーウォーク(1回/年)、社員・家族対象のウォーキングイベント(1回/年)
働きやすい職場づくり	所定外労働の抑制	ノー残業デー(本社、1日/週)の実施、金曜特例休暇(就業時間繰上げ)の導入
	育児介護の両立支援	時差勤務の導入、再入社支援制度の導入

## 4. 健康経営推進体制

安全衛生管理体制に定める総括安全衛生管理者(労務担当役員)が最高健康責任者となり、経営層と安全衛生の所管部署である経営管理部(労務担当)、産業保健スタッフが連携をして推進します。

## 5. 対象

社員1,217人

(一部の取り組みは、家族も対象)